

令和7年10月1日

吉川福祉専門学校
校長 久田 晴實 様

吉川福祉専門学校
学校関係者評価委員会
委員長 小湊 竜一

令和7年度 第1回学校関係者評価委員会報告

令和7年度第1回学校関係者評価委員会において実施した「令和6年度自己評価報告書」に対する評価結果について、下記のとおり報告します。

記

1 学校関係者評価委員名簿

委員長：小湊竜一委員 副委員長：與儀忍委員

阿部 慎也	グループホーム サンパティオ 施設長
小湊 竜一	特別養護老人ホームしょうぶ苑 施設長
奥澤 陽子	株式会社きぼう グループホームゆい 管理者 卒業生
與儀 忍	高齢者福祉施設やしお苑 副施設長
横張 亜希子	埼玉県立三郷高等学校長

(五十音順)

2 学校教職員（陪席）

久田 晴實	吉川福祉専門学校長
鯉沼 聡美	同 教務主任
山本 晃市	同 事務長

3 学校関係者評価委員会の開催状況

日 時：令和7年7月24日（木）9時00分～10時00分

会 場：吉川福祉専門学校 演習室

参加委員：学校関係者評価委員5名、学校教職員3名（陪席）

欠席委員：なし

4 委員会次第

開会

- (1) 委嘱状交付
- (2) 委員の紹介
- (3) 校長挨拶（学校概要の説明）
- (4) 議長選出
- (5) 協議
 - ①教育活動の重点目標（令和7年度）
 - ②令和6年度「自己評価報告書」について
 - ③学校に対する意見・要望など
- (6) その他
 - ①今後の予定
 - ②事務連絡等

閉会

閉会后、授業参観及び学校施設見学

5 学校関係者評価結果

別紙のとおり

以上

令和7年度吉川福祉専門学校 第1回学校関係者評価報告書

令和8年1月6日

1 学校関係者評価の進め方の説明

2 「令和6年度自己評価報告書」に対する評価の実施

1 学校の理念、教育目標

・特になし

2 本年度の重点目標と達成計画

(学校) 重要視しているのは、昨年度と同様に国家試験の全員合格である。

(委員) 今年度の国家試験より導入されるパート合格について、詳細をお聞きしたい。

(学校) 今年度の国家試験から、合格基準(総得点の6割程度)に満たなかった者を対象に、11群の受験科目を3つのパート(Aパート:介護の基本他、Bパート:こことからだのしくみ他、Cパート:総合問題他)に分け、パートごとに合格基準を設定し、翌年度の国家試験の受験の際、合格したパート以外(不合格だったパートのみ)を受験できるという制度である。

(学校) 国家試験に不合格だった者でも、養成校を卒業後5年間は介護福祉士資格が付与される。その後、卒業後5年間介護業務に従事した者は、国家試験に合格しなくても介護福祉士資格が期限のない永久の資格として付与されるという暫定措置がある。この措置は令和8年度入学生より廃止される見込みである(令和8年度以降の入学生は、国家試験に不合格だと卒業時に介護福祉士資格が付与されない可能性が高い)。

(委員) 国家試験に不合格になった卒業生が介護福祉士資格の付与がされなくなった場合、留学生の卒業後の就労ビザはどうなるのか。

(学校) 今後、国家試験に不合格になった留学生は介護福祉士資格が付与されなくなり、「介護」の就労ビザの取得ができなくなってしまう可能性が高い。そうすると、留学生の入学者も減ってくることが予想され、本校も影響が全くないわけではないが、留学生を多く受け入れている養成校はより大変になるのではないかと。

基準1 教育理念・目的・育成人材

1-1 【理念・目的・育成人材像】

(学校) 特色ある教育活動の一つとして、外部講師（皮膚排泄ケア認定看護師）による褥瘡や人工肛門（ストーマ）についての授業を実施した（2年生）。

(学校) 本校では、毎日14時30分で授業が終わる時間割を設定し、主婦やアルバイトをする学生たちにとっても学びやすい環境を整えている。また、国家試験対策授業については、数年前から時間割の中に組み込み、1年生は後期に10回、2年生は前期に3回、後期に27回実施した。なお、今年度も合格が危ぶまれた学生に対し補講等も実施し国家試験合格率100%を目指したが、令和6年度の国家試験は2名が不合格であった。この結果を真摯に受け止め今後の学校運営に活かしていきたい。

基準2 学校運営

2-3 【事業計画】

(学校) 6月に実施した文化祭（吉福祭）は、昨年度同様に賑やかに開催できた。また、この時期に文化祭を開催することで、高校生や保護者の方に本校の雰囲気を感じてもらうことができ、学生募集の一助にもなっている。

(学校) 実務者研修の受講生は11名（令和7年度も11名）であった。また、初任者研修の受講生は3名（令和7年度は募集中）であった。

基準3 教育活動

3-8 【目標の設定】

(学校) 今年度卒業した留学生は0名だった（令和7年度は4名が受験予定）。本校の留学生の特徴として、話せるが漢字が書けない学生が多い。

(委員) 最近は高校でも外国籍の生徒が増えてきており、日本語支援員を配置している学校もあるが、御校での留学生への指導（支援）方法は。

(学校) とにかく漢字を書かせる、読ませる。地道な指導に尽きます。

3-9 【教育方法・評価等】

(学校) キャリア教育の実施として、2年生の「チームマネジメント」の授業で、今年度は介護老人福祉施設職員（介護福祉士）、介護支援専門員、就労継続支援B型管理者の方から講義を受けた。

(委員) 学校の授業では、高齢者に対する学びや体験は多いが、障害者への触れ合いなどの機会は少ないと思うので、学生のうちからボランティア活動や実習などで、障害者への学びを深めていってもらえたらと思います。

(学校) 検討していきます。

3-10 【成績評価・単位認定等】

(学校) 卒業研究発表会は、前年度に引き続き学生と教職員のみで実施した。

3-11 【資格・免許の取得の指導体制】

(学校) 国家試験対策として、今年度も毎日1日1問、学生同士でホワイトボードに問題を出し合っている。

3-12 【教員・教員組織】

(学校) 今年度も規定どおりの教員の人数を確保しているが、将来的には専任教員の人数をもう1名増やしたいと思っている。

基準4 学修成果

4-13 【就職率】

(学校) 就職率は96.7%であった(卒業生31名中30名が就職)。未就職の1名は家庭の事情により未就職である。

(委員) 特養や老健、デイサービス等への就職者が多いようだが、介護実習先へ就職する学生が多いのか。

(学校) 近年、在学中にお世話になった介護実習先に就職を希望する学生が増えたように感じる(約5割程度)。本校は、大きく分けて3回(1年生の8月と2・3月、2年生の8・9月)の介護実習があり、昔は2年生の最後の介護実習終了後に就職先を決める学生も多かったが、最近は1年生で実施する2回の実習で、就職先の分野(特養や老健等)を絞り、2年生の比較的早い時期に就職の内定をもらう学生も多く、学校としても早めの就職活動を推奨している。就職先を選ぶ理由は学生の年齢等によっても違って来るが、比較的給与面よりも身体的にきつくないところ(日勤帯のみの施設)への希望者も増えている。また、土日はお休みできるのか、希望休は取れるかなど、休みを重視している学生も多い。なお、一人暮らしを希望する学生は少ない。

(委員) 国家試験に不合格になった学生が内定取り消し等になったケースはあるのか。

(学校) 今のところそのようなことは起きていないが、今後、介護福祉士国家試験の不合

格者に対する経過措置がなくなった時には、起こりえるかもしれない。
(委員) 介護施設も職員の高齢化が進んでいるため、若い介護職員の育成の一端を担う養成校には今後がんばってもらいたい。

4－14 【資格・免許の取得率】

(学校) 今年度は国家試験の不合格者が2名あったため、評定を4から3に下げた。
(委員) 国家試験に不合格になった卒業生へのサポートはどうしているのか。
(学校) 不合格になった卒業生には、模擬試験等の案内を積極的に行うなど、引き続き支援をしていきたい。

基準5 学生支援

5－17 【中途退学への対応】

(学校) 退学者は1名であった。退学理由は体調不良である。今後も中途退学者防止のため、当該学生の早期発見・早期指導等に努めていきたい。

5－18 【学生相談】

(学校) 令和6年度の留学生の在籍者数は、2年生が0名、1年生が4名である。なお、令和7年度の留学生の在籍者数は、2年生が4名、1年生が7名である。

5－19 【学生生活】

(学校) 授業料等減免制度利用者は33名(1年生12名、2年生21名)、高等教育の修学支援新制度利用者は6名(1年生2名、2年生4名)、介護福祉士修学資金貸付制度利用者は29名(1年生13名、2年生16名)である。

基準6 教育環境

6－23 【学外実習・インターンシップ等】

(学校) 昨年度までは新型コロナウイルスの影響で介護実習の一部を学内実習に変更して実施してきたが、今年度は全ての介護実習を学外にて実施した。

基準7 学生の募集と受入れ

7－25 【学生募集活動】

(学校) 令和3年度からの三か年は定員充足率が8割を超えたが、令和6年度からの二か

年は7割を切っている。毎年8割以上の定員充足率を目指したい。

(委員) 学納金を値上げしたことでの学生募集への影響はあったのか。

(学校) 学納金の値上げには不安な部分もあったが、値上げ幅を他校の学納金と比較しながら設定したこともあり、影響は少なかったように思える。

(委員) 本校(高校)の生徒の進路先は、進学が約7割、その他の3割が就職である。介護分野に直接就職をした生徒も過去にはいたが、最近はいない。

7-27 【学納金】

(学校) 令和7年度入学生より、学納金の値上げを実施することとした。

基準8 財務

8-28 【財務基盤】

(学校) 法人全体として令和6年度は赤字決算となった。

基準9 法令等の遵守

特になし

基準10 社会貢献・地域貢献

特になし